

令和5年度第4回藤沢市立学校適正規模・適正配置検討委員会
会議録（案）

期日：2023年12月22日（金）14時00分～14時45分

場所：藤沢市役所本庁舎3階 3-3会議室（オンライン会議）

出席者（敬称略）：

【検討委員】

渡邊 泰典

藤井 佳世

稲垣 景子

神原 勇人

越 美紀

河内 幸恵

坪谷 麻貴

澤野 美奈子

【検討部会員】

近 尚昭 教育部参事

【事務局】

浅野 智一 教育総務課 主幹

安西 美知代 教育総務課 課長補佐

根本 慎太郎 教育総務課 主査

時田 裕美 教育総務課

欠席者

【検討委員】

新海 政雄

平井 護

【検討部会員】

峯 浩太郎 教育部長

加藤 財英 教育総務課 参事

【傍聴者】2人

（渡邊委員長）

第4回藤沢市立学校適正規模・適正配置検討委員会を開催する。本日はオンライン開催となる。議事に入る前に本日の会議の目標について確認する。

（教育総務課 浅野主幹）

1、通学区域検討委員会及びワークショップの構成（案）に対する活発な意見交換

を行い、案の方向性を決定する。

2、令和6年度年間スケジュール（案）も同様に決定する。以上。

（渡邊委員長）

今の説明に対する質疑等あるか。

（なし）

議題（1）令和5年度第3回藤沢市立学校適正規模・適正配置検討委員会会議録の最終確認及び確定

（教育総務課 浅野主幹）

- ・資料1 第3回検討委員会会議録（案）参照
会議録の確認をお願いします。

（渡邊委員長）

質疑等あるか。

修正等がなければ記載されている内容で了承する。

議題（2）「藤沢市立学校適正規模・適正配置第1期実施計画（答申案）」の最終確認及び答申の流れの説明

（教育総務課 安西補佐）

- ・資料2-1 答申
- ・資料2-2 実施計画（答申案）参照

前回の適正規模・適正配置検討委員会のもと、ご指摘や修正事項等の連絡がなかった。内容等に変更はないが、黄色のハイライトを消し、最終形は第5回適正規模・適正配置検討委員会の冒頭で、渡邊委員長から教育長に対して答申していただく。

答申の時には、答申の「案」を削除する。

資料2-1は、渡邊委員長名から教育長宛となる「藤沢市立学校適正規模・適正配置第1期実施計画の策定について（答申）」を答申していただく。

本日は内容の確認をさせていただきたい。

実施計画 P60 会議日程の2024年1月9日の第5回適正規模・適正配置検討委員会の「今後開催予定」を「答申」とする。

説明は以上。

（渡邊委員長）

今の説明に対して、質疑等あるか。

（なし）

次の議題に移る。

議題（３）通学区域検討委員会及びワークショップの構成（案）の確認及び意見出し
（教育総務課 浅野主幹）

- ・資料３ 通学区域検討委員会 構成案
- ・資料４ ワークショップ 構成案 参照

内容は第３回適正規模・適正配置検討委員会と変更はない。通学区域検討委員会の構成委員として、学識経験者の方、小学校と中学校の校長会の代表の方、保護者の代表の方、現在も適正規模・適正配置検討委員会に参加いただいている社会体育振興協議会、みらい創造財団、社会福祉協議会、公募市民２名の構成で１１名程度を想定している。

ワークショップ構成案は、ご意見いただいたところを多少反映している。

反映したところは右側の枠の「※各地区や学校の実情に応じて非選定団体あり。」、「各学校のコミュニティ・スクールや保護者の代表者」を前回のものとは違うかたちで表記している。

基本的には、各地区の各協議会の代表の方については、市民センターを通じて各地区、各団体の代表者を選出していただければと思っており、今後市民センターのセンター長と調整する。

様々な団体を挙げているが、各地区全ての団体ではなく、必要な団体をセンターの推薦をいただき、選出しようと考えている。

各学校のコミュニティ・スクールや保護者の代表者は、学校単位で校長先生に選出していただきたいと思っており、各学校には校長会なども含めて説明していく。

地域住民について変更はない。

第３回適正規模・適正配置検討委員会で藤井委員からのご意見で、北部ワークショップに秋葉台小学校を加えていない点について指摘があったが、近隣小学校や六会市民センターと調整し、現状は過大規模校ではないので、秋葉台小学校は個別で相談する。

平井委員からワークショップの進め方についてのご意見で、最初から各団体に広げず、学校や保護者で構成したほうが良いという意見があったが、当初から今の構成案のメンバーを選出して進める。通学区域見直しの検討は１年で終わるものではないので、途中でメンバーが変わることもあると思っている。

説明は以上。

（渡邊委員長）

通学区域検討委員会およびワークショップの構成について事務局の説明に対して、ご意見または質疑等あるか

１点お伺いしたい。ワークショップに今回追記したコミュニティ・スクールに関して、自治体だと「コミスク」という表記だと思うが、「コミスク」という略し方はどれぐらい一般的なものなのか教えていただきたい。

(教育総務課 浅野主幹)

コミスク自体がまだ導入されていない学校もあるので、この表記は改めて正しい表記に修正する。

(神原委員)

私どもみらい創造財団がこの会議に参加している意義として、放課後児童クラブ運営の視点ということだと考えている。放課後児童クラブ運営事業者は市内全域では現在 55 ヶ所で運営しており、その影響についても検討が必要で参加していると思っている。

通学区域検討委員会構成案の中には、みらい創造財団が入っている一方で、ワークショップ構成案の中には児童クラブの関係者が入ったほうが、保護者や地域住民と協議するのにより具体的な話ができると思う。保護者や地域住民に、児童クラブ関係者を含めて設定するのならいいが、含めていなければ参加しづらい状況になる。保護者と学校、児童クラブの連携が取れなくなる恐れがあるので考えを聞きたい。

(教育総務課 浅野主幹)

その視点は抜けていた。確かに現場の学童の声は大事だと思う。幅広く参加できるように見せ方を考える。学童の方にも意見をいただきたいと考えている。

(渡邊委員長)

ほかの委員から質疑等あるか。

児童クラブ、みらい創造財団のお話が出たが、概ねこの通学区域検討委員会と、北部と南部のワークショップに関しては案の通りで構わないということでもいいか。

この議題に関してこれ以上質疑なしということであれば次の議題に移る。

議題（４）令和６年度以降の年間スケジュール（案）について意見出し

- ・資料５ スケジュール（案）参照

(教育総務課 安西補佐)

令和６年度から 11 年度までのスケジュールを示している。令和６年度は通学区域検討委員会の開催を年 2 回開催するスケジュールである。

立ち上げに関して、4 月 25 日号の広報で第 1 期実施計画を策定したことと、学区の見直しを行っていくため通学区域検討委員の公募を掲載する。公募市民が決まったら、5 月末に第 1 回通学区域検討委員会を開催するスケジュールとなる。

第 1 回通学区域検討委員会でワークショップの構成を確認し、ワークショップの地域住民の方に手を挙げていただき人選し、北部と南部の 1 回目ワークショップを 7 月に開催したいと考えている。

市役所の庁内関係各課で構成する通学区域検討部会は、ワークショップの話し合いの内容の調整を行い、次に進むというステップで考えている。

第2回目ワークショップを9月に行い、その話し合いの調整として通学区域検討部会を10月に行い、続けて3回目の南北ワークショップと通学区域検討部会を年内に行い、1月の第2回通学区域検討委員会で、ワークショップでの内容を報告する。

市議会に対しては通学区域の見直しの内容を定期的に報告することを想定しているので、通学区域検討委員会で市議会に報告する内容を確認していただき、2月市議会に臨むスケジュールである。

校長会へは随時情報発信する。通学区域検討委員会には小中学校の校長先生方に委員としてメンバーに入っていただくので、各学校の校長先生方にも通学区域検討委員の先生から情報共有する。

教育委員会への報告は、4月、5月、1月に随時報告する。

広報ふじさわには4月25日号で掲載する。その後はワークショップを開催していること、学区の見直しについての記事を、折に触れて市民の目に触れるようにお知らせする。

予算の関係もあるが広報ふじさわ6月10日号と同時期に、実施計画を策定したことと、通学区域の見直しをするお知らせ用のチラシを全戸配布し、市役所本庁舎と湘南台市民センターで実施計画についての地域説明会を行う。それ以外にも各地区への説明や、市民センターの会議で説明のほか、説明を希望する場合は対応する。

令和8年度のパブリックコメントだが、通学区域の見直しの案が固まったら、素案として議会に報告したあとにパブリックコメントを行い広く意見を求め、最終的に策定という流れとなる。

アナログの周知活動は、令和6年6月に全戸配布するように進めているチラシと、学区の見直しに絡むエリアは回覧板でお知らせを発信する。

デジタルの周知活動はLINEやHPを活用して、若い世代にも周知できるようにお知らせする。

最長3年間で学区の見直しを検討する予定だが、3年間の場合、パターン1は令和8年度末に通学区域を決定し、令和9年度に周知し、令和10年度に導入する。

検討が早く進んだ場合、令和7年度末に通学区域を決定し、令和8年度に周知し、令和9年度に導入するパターン2の2通りのパターンが考えられる。

太い線より下は、第1期実施計画が満了する令和10年度の翌年の令和11年度から検討する第2期実施計画を、令和9年から令和10年の2年間かけて検討するスケジュールである。その時には適正規模・適正配置検討委員会を立ち上げて、検討する手法を議論する。

来年度以降の全体的なスケジュールの説明は以上。

(渡邊委員長)

スケジュールに関する質疑等あるか。

本日のスケジュール案はこの適正規模・適正配置委員会の場で承認して確定するのか。異議がなければ、この委員会です了承するという事か。

(教育総務課 安西補佐)

資料5に関しては、そのように考えている。

(藤井委員)

パターン1とパターン2について、どちらかに決めるということではなく流れの中でどちらかになる理解でよろしいか。

(教育総務課 安西補佐)

実際にワークショップで話し合いをした流れでどちらになるかで、事務局側で決めることは想定していない。ただ最長3年で、それ以上に長くするということは考えていない。

(藤井委員)

令和6年度4月の広報ふじさわの記載は、いつ頃から実施するという表現は難しくなるかと思う。どのようなかたちになるか案があれば教えていただきたい。

(教育総務課 安西補佐)

広報ふじさわの記事の文言はまだ決まっていない。通学区域の見直しを行うこと、第1期実施計画の取り組みを遅くとも令和10年度までには導入するという書き方になる。誤解のないように記載する。

(藤井委員)

ありがとうございました。

(渡邊委員長)

ほかに質疑等あるか。

パターン1とパターン2のいずれの場合になるにしても、通学区域の策定が終わってから2月市議会に報告するという事なので、1月か12月の議論がタイムリミットになるか。

(教育総務課 安西補佐)

2月市議会に報告する最終案は通学区域が固まったものとなって、形式としては2月市議会に最終案を報告したのち、教育委員会定例会で決定する。2月市議会までに間に合うように議論する。

(神原委員)

通学区域検討委員会で最終的な案を確定するという事だが、ワークショップで地

域に入ってもらい検討し、通学区域が変更になることへの地区の合意形成は、スケジュールの表では「各地区への説明」か「地域説明会」の場か。

(教育総務課 安西補佐)

最終的に通学区域検討委員会が決定する。ワークショップでは意見を出していただく位置づけとなる。合意形成はある程度、通学区域案ができてきたら、該当するエリアで説明会を開催して情報発信したいと考えている。

(神原委員)

令和6年の第1回通学区域検討委員会では新しい委員が選任され、第2回目は南北ワークショップが3回終わった報告を受けて開催するのだと思うが、令和6年度は具体的な検討ではなく、ワークショップの意見を共有するスケジュールか。

(教育総務課 安西補佐)

おっしゃる通り、令和6年度はまだ学区の線の議論は進められないと思うので、考え方の整理を第3回目のワークショップでしたいと思う。第2回通学区域検討委員会ではワークショップの報告をする場となる。

(渡邊委員長)

ほかに質疑等あるか。

(藤井委員)

幼稚園や保育園の就学前の子どもたちの保護者の方へのアプローチは検討しているか。

(教育総務課 安西補佐)

現在通学している児童よりも、未就学児は通学区域見直しに影響する当事者になると認識している。ワークショップ構成案に未就学児の保護者は載っていないが、地域住民として入っていただいたり、LINEを通じて発信したり、保育園にお知らせを置くことや幼稚園に協力していただくなどの手法を考えている。

実施計画を策定する際に行ったアンケートを実施したとき、藤沢市立保育園や幼稚園協会にご協力いただいたので、同様にアプローチしていきたい。

(藤井委員)

何らかのアプローチをして進めていただきたい。

(渡邊委員長)

ほかに質疑等あるか。

今の質疑で出た点は事務局でもう一度確認していただき、検討委員会としてスケジュール案は了承する。

2 その他

(教育総務課 安西補佐)

次回の藤沢市立学校適正規模・適正配置検討委員会は2024年1月9日(火)午後2時から予定している。みなさまにご協力いただいた適正規模・適正配置検討委員会は次回が最終回となる。第1期実施計画の答申を行うので、可能な方は来庁して出席をお願いしたい。

(渡邊委員長)

次回の第5回藤沢市立学校適正規模・適正配置検討委員会は対面で出席する。ほかに質疑等あるか。

(藤井委員)

スケジュール案だが、4月25日号の広報ふじさわで公募委員の募集をかけるが、期間が短いのではないかと思うが、スケジュールとしては全体に問題がないという理解でよいか。どのように検討したのか教えていただきたい。

(教育総務課 安西補佐)

担当内でも指摘があり、4月25日号の広報ふじさわで募集し、5月末開催の第1回通学区域検討委員会に人選のスケジュールが間に合うか担当内で検討し確認した。

(藤井委員)

ありがとうございます。

(渡邊委員長)

そのほかに質疑等あるか。本日の審議はすべて終了する。

第4回藤沢市立学校適正規模・適正配置検討委員会を終了する。

種田教育委員 傍聴

第5回藤沢市立学校適正規模・適正配置検討委員会

2024年1月9日(火)午後2時から 藤沢市役所本庁舎3階 3-3会議室

黄色ラインマーカー箇所は要検討事項、要確認事項、次回への引継ぎ事項

以上